

# 総務分科会

事務事業数  
157項目

## 秘書室

問 一般事務経費の土建国保、建設国保への助成金の内訳は。

答 埼玉県市長会特別交付金として1人250円×3257人で81万4250円、市独自の補助として1人100円で32万5700円である。

## 人権政策課

問 連合婦人会補助金では、今後、補助金をどう考えているのか。

答 今後、団体とも協議しながら補助金等の見直しを含め検討していきたい。

## 経営管理課

問 深谷市のラスパイルズ指数は県内での辺に位置しているのか。

答 県内39市の内、28番目の位置にあり、平成21年度のラスパイルズ指数は98・5である。なお、100を超える市町は21市町ある。

## 収税課

問 滞納者に対する警告等は。

答 まず、最初に督促状を送付し、納入がなければ催告書を送付。それでも滞納が続く場合は、特別徴収担当の職員が毎戸訪問して対応

している。そして、最終的には差し押さえ予告書を出している。

問 差押えの具体的な方法は。

答 まず、財産の調査をし、給与がある方には、勤務先に照会し、差し押さえや分納誓約をもらう。また、多額の滞納者については、滞納額に見合った不動産の差し押さえをしている。

## 行政委員会

問 市長・市議補欠選挙では、投票所の削減により、どのくらいの経費削減になっているのか。

答 投票所が48カ所から31カ所に減り、試算として約810万円の経費が削減できた。



# 市民環境産業分科会

事務事業数  
156項目

## くらしいきいき課

問 市内の犬の登録数と、狂犬病予防注射実施数との違いは。

答 実施していない犬がいるため、接種率は83・5%。法律で年一回の接種が決まっているが、個人の考えによるため、100%実施の徹底は現実的に難しい。

## 商工振興課

問 現在のシルバー人材センターの会員数のランクと、連合会の補助金の関係は。

答 会員数1180人以上で、今年もAランクだが、合併の激変緩和措置で調整され、減少している。

## 環境課

問 大気・水質対策事業は過去3年間不用額が生じているが、現状に合わせた予算設定にすべきでは。

答 調査業務は外部委託による入札であり、設計額は県の単価を使用し、入札結果の執行残である。

問 環境基準値を超えているところはあるのか。また、長年蓄積されたデータはどう生かすのか。

答 河川水質の小山川、福川、唐沢川で基準をわずかに超えている。

結果については、生活排水処理基本計画を策定中であり、下水・農業集落の整備、合併浄化槽の普及・促進に生かしていく。

## 農業振興課

問 砂ぼこり対策事業は、試験ほ場ではなく、本格的な対策に入るべきではないか。

答 地域の農家の理解を得ることが重要な事業であり、今後は対策を絞っていく。また、地域座談会や対策協議会の意見を聞きながら事業の推進を図っていく。

## 分科会での意見

積年の課題であった、砂ぼこり対策について、一刻も早く意見を取りまとめ、速やかに解消するようにしてほしい。



砂ぼこり

# 福祉文教分科会

事務事業数  
293項目

## 福祉課

問 住宅手当緊急特別措置事業の周知は、どのようにしているのか。

答 特に行ってないが、相談等があった場合に説明をしている。

問 福祉基金積立金の予備費・流用増減について聞きたい。

答 年度末に予測しない預金利子が入り、補正が組めず流用した。

問 自立支援精神通院医療給付事業の給付件数は。

答 前期271人、後期282人、延べ553人に給付した。

## 長寿福祉課

問 敬老祝い金事業の執行率が、百分でないが辞退者がいるのか。

答 死亡や転出を除き百分の給付率となっている。辞退者はいない。

## 児童課

問 母子家庭自立支援給付金の実績は。

答 高等技能訓練促進費で看護師が9名。自立支援教育訓練給付金で医療事務取得者等が3名である。

## 保健センター

問 こども夜間診療所は、小児科

医師が担当しているのか。

答 市内の小児科専門医は2名で、内1名は高齢のため、専門医のみの診療所従事は難しい。

## スポーツ振興課

問 ふかやシティハーフマラソン参加人数は、今後制限するの。

答 警察等と協議の結果、総量規制を考えている。ハーフ・10キロメートル、5キロメートルは規制をし、親子の部等参加は、できるだけ出場させたい。

## 分科会での意見

事業シートの表記や様式について、特に事業の状況・成果・目標に対する達成率等、事業の本質が一目でわかるような工夫をしてほしい。



深谷シティハーフマラソン

# 建設分科会

事務事業数  
74項目

## 道路管理課

問 道路への寄附を受けた中に、いわゆる「馬入れ」はあるのか。

また、今後の計画は。

答 位置指定道路、いわゆる「突っ込み道路」は7カ所あるが、今後市道として管理していく。

問 現在、深谷市の市道の総延長はどのくらいになっているのか。

答 平成22年4月1日現在、9946路線、222万1464キロメートルとなっている。

## 生活道路パトロール課

問 交通安全指導員について、現状の人数で足りているのか。また、活動中の事故については、どのように補償されるのか。

答 現在、旧深谷市から20人、岡部地区9人、川本地区5人、花園地区6人の合計40人が交通指導員として活動している。なお、指導員の活動については、年間を通じて保険に加入しているので、万が一の時は保険で対応したい。

問 道路反射鏡設置事業について、既存の道路反射鏡が壊された場合は弁償してもらうのか。

答 道路反射鏡が壊された場合は弁償してもらう。

答 交通事故等については、原因者による弁償が基本となっている。平成21年度は、24件の事故について現状復旧の措置をとった。

問 都市計画課

問 都市計画審議会について、市長の諮問で開催されるとあるが、どのような諮問があったのか。

答 平成21年度については、都市計画道路の変更及び都市計画区域の変更についての2件である。

問 水道事業に関して、漏水率はどのくらいか。また、近隣市と比較してどの程度なのか。

答 深谷市の漏水率は、7・9%となっている。なお、近隣市との比較は特に行っていない。



道路反射鏡

へ「ラスパイルズ指数ってなあに?」...地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。く